

# 慶應義塾大学「医学・医療への一步 努力は天命さえも変える」

## ●育成したい人材像

- ・ 高い学習意欲を有し、大学卒業程度の知識・学力を有する。
- ・ 国際性を有し、外国語での研究発表ができる。
- ・ アントレプレナーシップを有する。
- ・ 医学・医療、あるいはその周辺分野を含めて社会貢献を志している。
- ・ 研究の倫理および社会通念上の道徳を有する。
- ・ 事象に対して科学的理解と社会的理解を均衡に育むことができる。

## ●背景（問題意識）

### 医学・医療を中心とした国際的な先導者育成プログラム

- ・ 新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより、医学・医療領域では公衆衛生、ビッグデータ活用、国際協調など含めた新たな学際的領域の重要性が認識されている。
- ・ 自然科学の探究には、国民の理解と協力が必須であり、そのための媒介者（コミュニケーター）の育成は急務である。
- ・ 医学・医療分野における能力と意欲に溢れる少数の研究者による理論的・技術的ブレークスルーが求められており、その育成が喫緊の課題である。

## ●企画の主な特徴

- サイエンスライター育成・アントレプレナーシップの修得。
- 広範かつ多様な分野（医学・医療及び広範な周辺分野）での個人研究。
- 豊富な国際共同研究（アメリカ、イスラエル、スウェーデン）。

## ●企画の主体組織

慶應義塾大学医学部、理工学部、薬学部

## ●連携機関

熊本大学、東京薬科大学、神奈川県教育委員会、東京都教育委員会、熊本県教育委員会、山形県教育委員会など

## ●企画の最終目標

選抜受講生の学術論文及び国際学会での発表、各種オリンピックでの受賞、並びにサイエンスライター育成による記事発表を目的とし、それらのプログラムを全国の高校生に波及させることを目標とする。

